



バイオマスエネルギーシンポジウム

バイオマスエネルギーで 『資源とお金』を地域で回す

日時

2016年 **7月16日** (土)
13:00~16:00 (開場12:30)

会場

丹波市立青垣住民センター
別館大集会室 (丹波市青垣町佐治114)

講演

地域におけるバイオマスエネルギーとは？

菊池貞雄氏 北海道バイオマスリサーチ株式会社代表取締役

昭和32年2月帯広市生まれ、地元高校を卒業後、立命館大学産業社会学部に入學する。その後、建設コンサルタント会社で地域づくり計画、農村観光計画、農村ブランド計画を行い、1997年バイオガスに出会い、ライフワークと決め10年前にソーシャルビジネスのシンクタンクを目指し起業した。2012年にはバイオガス研究で帯広畜産大学大学院畜産衛生学の博士号を取得した。地方でおこなう農村観光活動「ロングトレイル」、農福連携の先駆けとして「ソーシャルファーム」などに取り組み「社会連帯経済」の農村的表現を目指す。武蔵野美術大学特別講師「地域におけるプロジェクトデザイン」、NPO日本ロングトレイル協会理事、ソーシャルファームジャパン常任理事、NPOあうるず理事などを兼任する。



地域資源と経済をまわすということ

澤上篤人氏 株式会社さわかみホールディングス代表取締役

1947年3月28日生まれ愛知県出身。71年から74年までスイス・キャピタル・インターナショナルにてアナリスト兼ファンドアドバイザー。その後、80年から96年までビクテ・ジャパン代表を務める。96年にさわかみ投資顧問(現さわかみ投信)を設立し、99年には「さわかみファンド」を設定。これまで「さわかみファンド」1本のみの運用で純資産は2,655億円、顧客数は11.8万人を超え、日本における長期運用のパイオニアとして熱い支持を集めている。また昨今は「お金の使い方」のモデルとなるべく財団活動に積極的。



パネルディスカッション

これからは地域！エネルギー資源とお金を活かす

主催：NPO法人新エネルギーをすすめる宝塚の会

協賛：株式会社近藤栄一商店、丹波乳業株式会社、株式会社西山酒造場、後藤木材
非営利型株式会社宝塚すみれ発電、一般社団法人みんなの低温殺菌牛乳協会
北大阪商工協同組合、コスモ石油販売株式会社、コスモリフォーム株式会社関西支店



このシンポジウムは
平成28年度独立行政法人環境再生保全機構
地球環境基金の助成を受けて開催します